

図書館のサポート力アップにつなげよう：レファレンス記録の活用

大阪女学院図書館 坂本恭子

- I. はじめに
- II. レファレンスサービスの現状
 - A. レファレンスサービスの実施状況（資料 1）
 - B. レファレンスサービスの質問内容
 - C. レファレンスサービスの機能の変化
- III. 大阪女学院大学図書館の事例
 - A. 大阪女学院図書館の概況（資料 2）
 - B. レファレンスサービスの概要
 1. 質問数と質問のタイプ（資料 3）
 2. レファレンス体制
記録用紙（資料 4）（資料 5）（資料 6）
 3. 学生のレファレンスサービスの周知度
 - C. 記録の使い方
 1. 図書館員サポート力アップ
 - a. 館内での情報共有
 2. 図書館サービスの見直し
 - a. 蔵書構築
 - b. サインの見直し
 - c. パスファインダーなどの作成
- IV. レファレンスサービスの記録の必要性
 - A. 館内での情報の共有
 - B. 図書館サービスの改善
 - C. 図書館の評価
- V. これからの記録の活用方法
 - A. 他館と共有
 - B. 図書館のPRに
- VI. まとめ

参考文献：齊藤文男&藤村せつ子. (2004). 実践型レファレンス・サービス入門. 東京：日本図書館協会.
齊藤康則. (2009). 利用者志向のレファレンスサービス：その原理と方法. 東京：勉誠出版.